

「知識」は、技能とともに仕事の質を大きく左右しますが、研究推進・支援業務に関する知識は体系的に整理されているとは言えず、参照すべき情報源を自分だけで探索していくのは容易ではありません。

今回の情報共有会では、国内外の研究推進・支援の議論においてこれまで取り上げられる場面が少なかったと思われる人文・社会科学系分野を入口に、そうした業務に（も）携わる／興味のある人たちが視野を広げ、より良い仕事をするための知識がつまった資料の情報をお互いに出し合うことでリスト化を試みます。更なる知識の獲得・活用に関して、それぞれに豊富な経験をお持ちのシニアゲストお二人から助言をいただく時間も設けます。

各個人や組織における今後の業務発展の一つのきっかけとして、そして何より日々の実務の充実のために、今回の情報共有会の場を一緒につくり・活用して下さる方の参加をお待ちしています。

## ▶ 今回のテーマ

# 研究推進・支援に役立つ資料リスト 2018 を作ろう

視野を広げ、より良い仕事をするための知識とは  
【「人文・社会科学系分野を入口に」編】

2018年6月29日（金）15時－17時

（開場 14時30分） 終了後、会費制交流会

大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構サイエンス・コモンズ サイエンス・スタジオ A  
（大阪府豊中市待兼山町 1-16）

対象：人文・社会科学系研究推進・支援業務に（も）携わる／興味のある URA や教職員の方  
大阪大学内外からの参加を歓迎します

定員：30名（先着順、要事前申込）

参加費：無料（交流会は会費制です）

主催：大阪大学経営企画オフィス URA 部門  
人社フォーラム運営ネットワーク

# 第4回 JINSHA 情報共有会「研究推進・支援に役立つ資料リスト 2018 を作ろう」

2018年6月29日(金)15時-17時(開場14時30分) 終了後、会費制交流会

## 情報共有会 前後の流れ

①③は参加型で  
実施します。  
ご協力ください！



①事前参加登録  
・名前・所属など  
・おすすめ資料情報



②参加者の登録資料を  
リスト化  
・事務局が整理・分類



③情報共有会  
・リスト共有  
・各自、一押し資料プレゼン  
・シニアゲストから助言



④各個人・組織でリストや  
資料を活用  
・日々の業務に  
・人材育成教材に 等

## 当日の プログラム

15時-17時 (17時30分-19時頃 豊中キャンパス内で会費制交流会)

1. 趣旨説明、研究推進・支援に役立つ資料リスト2018の共有
2. 参加者全員による「人文・社会科学系研究推進・支援に(も)役立つおすすめ資料」プレゼン
3. 質疑応答・ディスカッション
4. ゲストコメンテーターより講評

【備考】今回は、人社系分野に何かしら関連づけられる資料を対象としますが、人社系のみ限定しません。情報共有された資料の書誌情報等を整理したリストは、参加者間で共有するだけでなく、ウェブ上での公開やRA協議会年次大会等での発表の可能性もあります。

## ゲスト コメンテータ

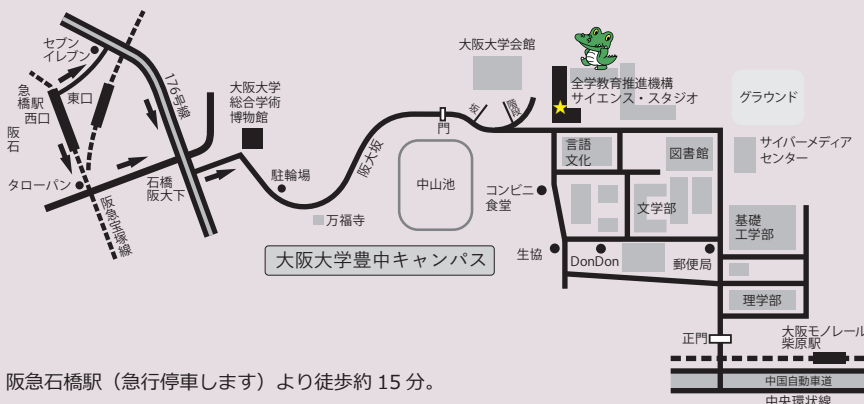


三成賢次氏 (大阪大学大学経営総括理事)  
大型プロジェクトマネジメント経験のある教員として  
部局長経験者として  
組織としてのURAの活用を考える立場から



池田雅夫氏 (RA協議会副会長、大阪大学産学共創本部  
シニア・リサーチ・マネージャー)  
日本のURAの先駆者として、文部科学省やRU11の委員  
会等でURAのスキルに関する検討をしてきた立場から

会場：大阪大学全学教育推進機構サイエンス・commons  
サイエンス・スタジオ A (大阪府豊中市待兼山町1-16)



阪急石橋駅(急行停車します)より徒歩約15分。  
大阪モノレール柴原駅より徒歩約20分。  
駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

お申込みは  
こちらのページから

<https://www.ura.osaka-u.ac.jp/urasytemdevelopment/20180515.html>

定員30名(先着順)

JINSHA 情報共有会とは  
(JINSHA: Japan Inter-Institutional Network for Social Sciences, Humanities and Arts)  
複数大学のURA連携により2014年度から実施している人文・社会科学系研究推進フォーラムの関連企画として、2017年度から中規模程度の情報共有会を不定期開催しています。